

初々しい活力を持って新たな成長を始める年に

東京シール・ラベル印刷協賛会
会長 西尾 弘之



明けましておめでとうございます。旧年中は協賛会各社をお引き立て賜り、厚くお礼申し上げます。本年も引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、昨年を振り返りますと、日本では新しい天皇が即位し、国全体が沸き立つ中で新元号「令和」の時代を迎えました。しかし、その一方では一昨年に続いて自然災害が相次ぎ、日本列島を直撃した大型台風や、それに伴う河川の氾濫などが各地で甚大な被害をもたらしました。また海外に目を転ずると、米中貿易摩擦や日韓問題など、日本経済を取り巻く環境は非常に不透明な状況で推移しました。

そうした中で迎えた今年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。多言語表示はもとより、キャンペーン関連やセキュリティ関連、あるいは環境関連など、シール・ラベルの新たな需要が期待されます。昨年、空前の盛り上がりを見せたラグビーワールドカップでの経験や採用実績も踏まえつつ、印刷会社様と協賛会各社が今こそ“ONE TEAM”となって、市場の新たなニーズを的確に捉え、積極的な提案を図っていく必要があります。特に環境配慮製品の開発・普及促進ということについては、今年だけにとどまらない中・長期的な課題として、取り組みを加速させていくための一つの大きなきっかけの年にしていかなければならないと考えています。

今年の干支は「庚子(かのえね)」。これは新しい時代、新しい社会へと変化を遂げていく年を意味するのだそうです。シール・ラベル業界もこの一年を、これまでの古い価値観をそぎ落とし、新しい環境へ即応していく年、初々しい活力を持って新たな成長を始める年にしていかなければなりません。業界全体のさらなる発展、そして持続可能な未来に向けて、協賛会各社としても引き続き皆様と共に着実に歩んでいきたいと思っています。

最後に皆様のますますのご発展とご繁栄を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。